

産業廃棄物の不法投棄等の状況（2023年度）について



環境省は2024年12月6日に2023年度における産業廃棄物の不法投棄等の状況について公開しました。
年度末時点の不法投棄等の事案残存量に加え、新たに判明した不法投棄等の事案を下記の通り公表しています。

(1) 2023年度に新たに判明した不法投棄事案

- ・不法投棄件数 100件
- ・不法投棄量 42,000 t
内建築系廃棄物（がれき類、建設混合廃棄物、木くず（建設系）、廃プラスチック類（建設系）、汚泥（建設系））：72.6%
建設系以外廃棄物（汚泥（その他）、木くず（その他）、ガラス・陶磁器くず、繊維くず、廃プラスチック類（廃タイヤ））：27.4%

(2) 2023年度に新たに判明した不適正処理事案

- ・不適正処理件数 121件
- ・不適正処理量 50,000 t
内建築系廃棄物：79.0%、建設系以外廃棄物：21.0%

(3) 2023年度末における不法投棄等の残存事案

- ・残存件数 2,876件
- ・残存量 10,112,000 t
内建築系廃棄物：81.7%、建設系以外廃棄物：18.3%

なおこれらの調査と併せて、全ての残存事案に係る生活環境保全上の支障又はそのおそれ、個々の残存事案ごとの2023年度末時点の、支障等の状況や都道府県等の今後の対応方針に関する調査についても、環境省のHPで公表されています。

当社では産業廃棄物分析に長年の実績と豊富な経験があります。詳しくは、当社分析担当者（フリーダイヤル0120-01-2590）までお気軽にお問い合わせください

資料 [2024年12月6日付 環境省報道発表資料](#)